



ゆぎょうじ

遊行寺だより

ホームページでも
配信しています

朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。外出する際は、暖かい服装をして、体調を崩さないように気を付けましょう。

◆ 今月の行事予定

- ・ **写経会**【1日(日)午後1時】
どなたでも気軽に写経の体験ができます。
受付は12時半からです。(御志納1,000円)
- ・ **除夜法要**【31日(火)午後11時45分】
大みそか恒例の「除夜の鐘つき」参加者を募集しています。(先着108名・予約制・1000円)
12月1日午前8時30分より受付を開始します。

～ 遊行寺梵鐘 ～

当山の梵鐘は、時衆が隆盛を得た延文元年(1356)に造られたことから「延文の鐘」とも呼ばれます。総高は5尺3寸、口径は3尺あり、平成2年に神奈川県指定重要文化財に認定されています。



～ 遊行寺宝物館 ～

特別展 礼讃の表現

開催期間:11月16日(土)～12月22日(日)


開館日:毎週月・土・日・祝日

開館時間:10時～17時(入館は16時30分まで)

入館料:一般500円 小学生以下300円



◆ 今月の催事予定

- ・ **骨董市**【1、15日(日)】
毎月第1日曜日…^{のみ}蚤の市
〈問合せ:090-4416-2168(石田様)〉
毎月第3日曜日…ボロ市
〈問合せ:090-2660-6935(中島様)〉
* 午前7時より午後4時まで(雨天中止)
- ・ **寺ヨガ**【8日(日)】
毎月第2日曜日 於:大書院
9時～ / 11時～ / 13時～(各70分) 
〈問合せ:090-4365-5034(ナーニヤ先生)〉
- ・ **野菜市**【4、11、18、25日(水)】
毎週水曜日 午前中出店・雨天中止

【歳末別時念仏会満行のご報告】

先月18日から28日にわたり歳末別時念仏会を厳修いたしました。

27日の一ツ火法要(御滅灯)では、報土役(木本鑑乗)と後灯役(常盤慈人)が暗闇の中に一ツ火を灯しました。

無事に満行できましたのは、全国の時宗寺院、地域の方々をはじめ、遊行寺の御檀家の皆様にたくさんのお志納、ご参拝を賜ったおかげです。厚く御礼申し上げます。



鐘の音とともに

今年も残すところあと一か月。時間の流れの早さを感じております。

年の瀬が迫り一年を振り返ると、良いことや悪いこと、改善しなければいけないことなど様々なことを思い起こすのではないのでしょうか。

さて、遊行寺では大晦日の深夜から元朝にかけ、除夜法要を修行しております。大晦日は「除日」と呼ばれ、古い年を除き去り新年を迎える日という意味を表します。その夜に煩惱を払うために打つ鐘を「除夜の鐘」と呼び、一般的に煩惱の数と同じ108回撞きます。

煩惱の数については四苦八苦という言葉に由来しているといわれます。

四苦(4×9=36)と八苦(8×9=72)を足した数が108になることから、煩惱は108つあるという訳です。(諸説あります)

仏教では、人生を送る上でどうしても避けられない苦しみを四苦とし、その四苦にさらに四つ加えて八苦で表します。ですから、四苦八苦といっても苦が12個あるわけではなく、全部で8つとなるわけです。

四苦は「この世に生まれる辛さ」「老いていく悲しみ」「病の苦しみ」「死への恐れ」を表す生老病死を指し、八苦は愛別離苦(愛する者との別れ)怨憎会苦(怨み憎んでいる者に会うこと)求不得苦(求める物が得られないこと)五蘊盛苦(肉体と精神がおもままにならないこと)を意味します。

私たちの心を汚す煩惱の多くは、四苦八苦の言葉が示すように、自分の思いどおりにならないがゆえに湧き出るものです。また消し去ろうとしてもなかなか消え去るものでありません。だからこそ、年に一度は自らの行いを振り返り、悔い改めて同じ過ちを繰り返さないようにするのです。

一年の締めくくりには、除夜の鐘が鳴り響く遊行寺へぜひ足を運んで下さい。

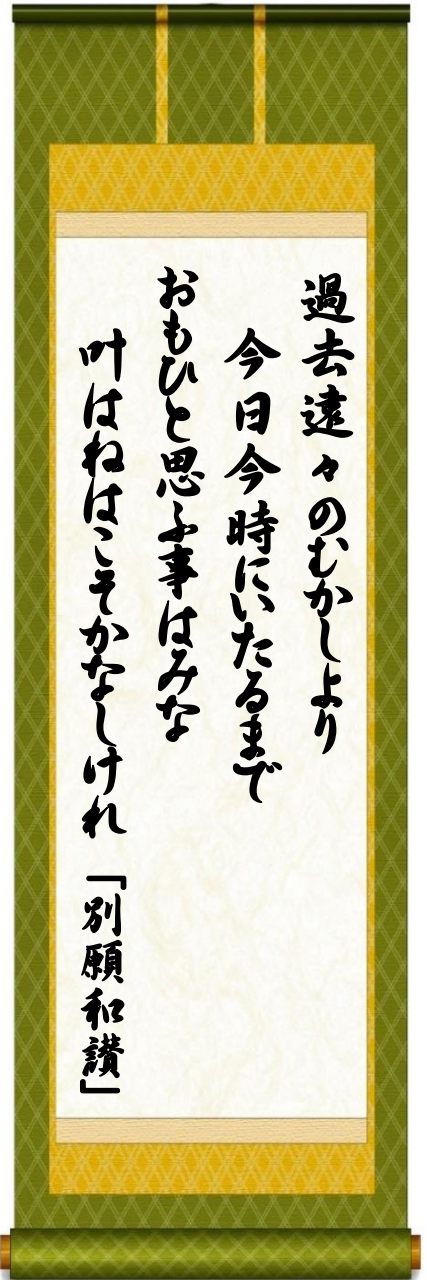
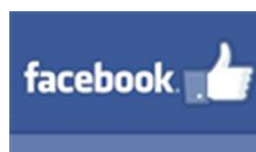
鐘の音には、煩惱を振り払い心に落ち着きを与えてくれる他にも、過ぎ去ってゆく年への感謝や、新年への期待感をつのらせてくれます。

皆さまのご参拝お待ちしております。どうか気持ち安らかに素敵な一年をお迎えください。

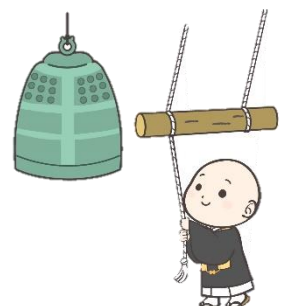
合掌
ないごんす ときわ じじん
(内近司 常盤 慈人)

フェイスブックでも遊行寺の様子や情報を配信しています。

最新記事をお読みいただけますので、ぜひ“いいね！”してください。



～一遍上人のおこころ～
思い通りにならないことばかりで悲しくなってしまうのが凡夫です。
結果にばかりとらわれず、悟りの境地を目指すのです。



時宗総本山
遊行寺

〒251-0001 神奈川県藤沢市西宮 1-8-1
TEL:0466(22)2063 FAX:0466(23)8243
ホームページ: <http://www.jishu.or.jp>